

船舶購入仕様書

種 別		基 本 事 項		
実習船	□	艇形状・船質	小型実習船（限定沿海）、FRP製、船型を有すること	□
		主な実習海域	臼杵湾及び豊後水道、瀬戸内海	□
		主な用途	漁業・操船実習、気象・海洋観測、調査研究	□
台 数		安全性・安定性	安全に実習ができるスペースの確保、設備、性能	□
1 艇	□	主機関等	船内機、ディーゼル（Nox排出規制基準値を満たすこと）	□
		速力性能	時間内に実習海域との往復ができる十分な速力	□
		操船性能	狭い港内等における安定した操船性能	□
A 主要寸法・船体構築等		B 主機関・補機・タンク・電装等		
1	船体 ※参考イメージ図あり 別紙1	□	1 主機関（ディーゼル495kw以上【参考】ヤンマ6HYS-WET）	□
2	全長：17m程度・全幅：4m程度・全深：1.5m程度	□	2 補機若しくはそれに代わる主機駆動のダイナモ	□
3	総トン数：7.5トン以上9.7トン未満	□	3 油圧式パウスラスタ（φ250mm）及びスタンスラスタ（φ215mm）	□
4	小型船舶登録及び、漁船登録を取得すること	□	4 操舵リモコン（舵・クラッチ・アクセル・スラスタ操作可能）	□
5	航海速力：25ノット以上	□	5 油圧操舵機（リモコン付き）	□
6	最大搭載人員：15名以上（漁船登録時 20名以上）	□	6 プロペラ点検口設置	□
7	両舷に学校名、船名、校章を表示（※場所・数量協議）	□	7 機関室用ベンチレーター設置	□
8	キャビン仕様（L600cm以上・H185cm以上・ベンチタイプ）	□	8 海水こし器及び燃料こし器	□
9	救命胴衣収納庫（NO.1）設置（ベンチシート下）※要協議	□	9 ビルジポンプ（日立BP190-J50同等品可）自動・手動 ×2	□
10	スカイライトハッチ	□	10 油圧ポンプ、油圧タンク、油圧オイル	□
11	ブリッジサイドドア及び引違窓（左右）並びにリアドア	□	11 燃料タンク：1500L以上、清水タンク：300L以上	□
12	ドライバースシート及びハンドグリップ	□	12 散水ポンプ（KP100同等品可）	□
13	ハンドレール（ブリッジサイド・キャビン内）※要協議	□	13 電動リフト（日立スパーリフトLSMT-24同等品可）※要協議	□
14	手洗い設備 清水タンクから供給できること※要協議	□	14 エアコン（能力6畳用程度：同等品可）×1台及び配管	□
15	船首デッキステップ（FRP）※要協議	□	15 バッテリー（始動用・計器用）210×2、155×2	□
16	オーニングテント（船尾）※大きさ現物合わせ要協議	□	16 キャブスタン（前・後）：出力750kw定格負荷毎分24m180kg程度	□
17	デッキ上サイドベンチ（定員分を目安に）※要協議	□	17 インバータ（出力3000w）及び100Vコンセント ※コンセント数量等要協議	□
18	ブルワーク高さ（650mm以上）	□	18 警報装置（浸水・漏水等一括警報） ※取付要協議	□
19	舷門設置（左舷） ※要協議	□	19 探照灯（船首）LED仕様	□
20	床形状：メーカー標準仕様、フラッシュハッチ仕様	□	20 作業灯（船首・船尾）LED仕様	□
21	ビット 船首1、両舷各3、計7本	□	21 マスト（航海灯・GPSアンテナ・ドームアンテナ用）	□
22	ペンドル（防舷物）掛け ※要協議	□	22 室内灯（操舵室、キャビン、船室等）LED仕様	□
23	落下防止手すり（船首、両舷、船尾）※要協議	□	23 ブレーカースイッチ（パネル付き）	□
24	ビルジキール ※取付位置等要協議	□	24 ウィンドワイパー及びウィンドウォッシャー ×2	□
C 航海計器等		D 法定備品及びその他装備		
1	レーダー（フルノ1835ドームアンテナ同等品可）	□	1 救命胴衣（自動膨張機能付き）定員分以上	□
2	A I S（フルノFA-60同等品可）レーダーと連動すること	□	2 救命浮環 2個以上	□
3	無線設備（国際VHF：16チャンネル）	□	3 救命浮器（定員分以上）	□
4	コンパス（サテライト又はマグネット）	□	4 救命胴衣格納庫（NO.2）及び表示 ※要協議	□
5	気圧計（船舶対応検定品）	□	5 自動攪拌消火器（DD-150同等品可）※要協議	□
6	風向計（真風向風速を船内で表示できること）	□	6 沿海セット（非常用発煙信号等の法定備品類を含む）	□
7	GPS魚探一式（フルノGP3700F同等品可）	□	7 レーダーリフレクター（φ32cm以上）	□
8	舷灯（赤灯・青灯）	□	8 黒球（φ310mm以上）	□
9	四種汽笛（拡声器付き）（SG-122同等品可）	□	9 消火用赤バケツ	□
			その他必要な法定備品 ※法定備品は最新のものを要確認	□
E 装備及び付属品				
1	竿受け・竿差し設置 各舷5、船尾2、計12カ所	□	7 イカリ ストック型 ※重量等要協議	□
2	ポートフック、デッキブラシ収納器具設置	□	8 アンカーロープ（100m） ※太さ等要協議	□
3	散水ホースかけ設置	□	9 係船ロープ 200m 8本撚り ※太さ等要協議	□
4	船首アンカーローラー台設置	□	10 防舷物（ウレタン製）片舷各3 計6個	□
5	船尾ツノローラー設置	□	11 ステップラダー（取り外し式） ※要協議	□
6	フェアリーダー（船首・両舷）設置 ※要協議	□		□
F 納入場所		G 納入期限		
大浜港（大分県臼杵市大浜231）		令和8年度中（4月1日～翌年3月31日）のできるだけ早い時期		□
要求課	大分県立海洋科学高等学校	担当氏名	江原 貴久（えはら たかひさ）	
		電話番号等	TEL 0972-63-3678 ehara-takahisa@oen.ed.jp	
H その他				
①漁船の建造実績が豊富な造船所であること。				□
②船体、主機及び補機並びに各装置等は、不具合や故障した際に迅速に対応できるメーカーであること。				□
③探照灯、作業灯、室内灯類はLED仕様とし、十分な光量を有すること。				□
④「※要協議」等とあるものは、特に取付位置や方法について、業者決定後の適切な時期に協議を行うこと。				□
⑤岸壁から乗船するためのタラップ（手すり付き）を製作すること。（※参考写真あり 別紙2）				□
⑥操船説明及び機器操作説明（それぞれ軽易なもので可）を入札金額に加えること。				□
⑦回航費用を入札金額に加えること。				□
⑧小型船舶検査や漁船登録など、船舶の登録に必要な費用を入札金額に加えること。				□
⑨保険料は入札金額に含めないこと。				□

船舶購入仕様書

■ 入札参加申請

「大分県共同利用型電子入札システム」の「入札参加申請書等提出」画面から、令和6年7月22日(月)の午前10時00分までに入札参加申請を行うこと。

紙入札による場合は、同期限までに紙入札参加届出書2部を用度管財課あてに提出すること。

■ 同等品で入札に参加しようとする場合

- ① 別添の「同等品確認書」により、事前に海洋科学高校担当の確認を受けること(同等品の確認なしに入札し落札した場合は例示品での納品となるので注意すること)。
- ② 例示品と同一品であっても、OEM供給等によりメーカー・型式が異なる場合は①の同等品確認を要すること。
- ③ 同等品の確認を得た場合は、入札金額入力前(紙入札による場合は入札期日の前開庁日16時)までに「同等品確認書」の写しを用度管財課あてに提出すること。

用度管財課 担当:板井 FAX:097-506-1784

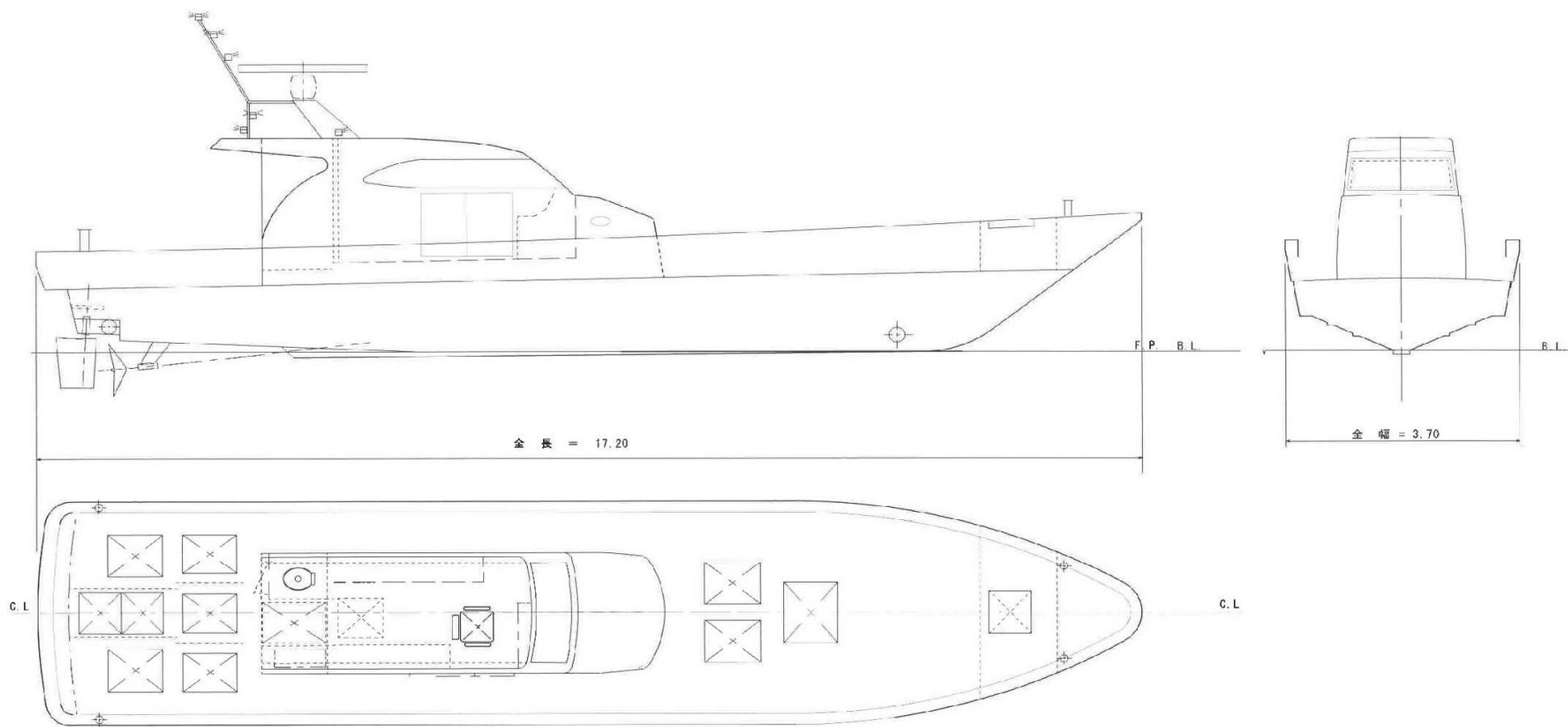
■ その他

- (1) 規格や付属品等で疑問が生じたときは、事前に大分県立海洋科学高校に確認すること。
- (2) 搬入日については、担当者と十分打合せを行うこと。
- (3) この仕様によるもののほか、この契約の履行について必要な事項は、大分県契約事務規則(昭和39年大分県規則第22号)に定めるところによる。

■ 検査員

(主任) 川野 裕太 (副任) 平川 幸史

別紙 1 海幸丸代船イメージ図 大分県立海洋科学高等学校



※長さ等の数値は参考値です。

別紙2 海幸丸代船 タラップ参考写真



岸壁に固定し、乗降しないときは跳ね上げておけるもの

同等品確認書

大分県立海洋科学高等学校 殿
(用品要求課あて)

令和 年 月 日

商号又は名称

確認申請担当者

備品名	実習船
-----	-----

当該競争入札に下記の同等品で参加します(左にチェックのうえ同等品確認を得た後、当該書類の写しを用度管財課に提出)

内訳

No.	品名	例示品	同等品候補		確認
		メーカー・型式等	メーカー・型式等	税抜価格	
1					

○例示品以外の同等品で入札しようとする場合は、この様式により担当課(問い合わせ先)の確認を受けること。

○「確認」欄には、問い合わせ先の担当が記載をすること(確認のうえ認定した場合は「○」を記載)。

○問い合わせ先担当は、下記に所属、職・氏名を記載すること。

令和 年 月 日
課・所属 _____
確認者(担当者) _____